

2026年5月25日
神鋼商事株式会社

当社グループの新マテリアリティについて

当社グループは、社会的価値と経済的価値の両立を実現するための重要課題（マテリアリティ）を新たに特定しましたのでお知らせいたします。

1、背景

当社グループは、2022年4月にマテリアリティを制定して以降、サステナビリティ委員会を中心に、中期経営計画の策定タイミングに合わせて、その妥当性や実行上の課題について検討を行ってまいりました。

今般、経営環境の変化および次期中期経営計画の策定を踏まえ、2025年10月より約半年間をかけてマテリアリティの見直しを実施いたしました。

2、マテリアリティ特定プロセス

マテリアリティの特定プロセスとしては、国際的なガイドラインや ESG 評価の動向などの外部要因を踏まえるとともに、社内ヒアリングやグループ会社アンケート等を通じて内部要因を整理し、当社グループに関連する社会課題を幅広く抽出いたしました。その結果、環境・社会・ガバナンスの観点から、合計44項目の社会課題を整理しました。

これらの社会課題については、「当社グループにとっての重要性」と「ステークホルダーにとっての重要性」の二軸に基づき評価を実施し、マッピングを通じて重要性の高い課題を特定するとともに、課題間の関連性を踏まえた統合・整理を行い、新たなマテリアリティを特定いたしました。

また、本プロセスにおいては、国内外のグループ会社を含む多様な関係者の意見を反映し、マテリアリティの妥当性および実効性の確保を図っております。

当社グループは、本マテリアリティを社会的価値と経済的価値の両立を図るための重要な基軸として位置付けています。これを踏まえ、社会課題の解決を起点とした価値創造を通じて、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

3、今後について

新たに特定した6つのマテリアリティを踏まえ、次期中期経営計画における戦略および具体的施策へ反映し、中長期的な企業価値向上に向けた取組を一貫して推進してまいります。

4、当社グループのマテリアリティ

- ・ 持続可能な資源利用への転換
- ・ 気候変動への対応
- ・ イノベーションを通じた社会的価値ある製品・サービスの創出
- ・ レジリエントなサプライチェーンの構築
- ・ 自ら変化に挑む多様な人材の育成
- ・ 実効性のあるガバナンスと質の高い経営の追求

【本件に関するお問合せ先】

神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム TEL 03-5579-5201